



学校教育目標

努力 創造 協調

《めざす学校像》

- ・確かな学力の定着と向上に努める学校
- ・豊かな心の育成に努める学校
- ・夢や希望をもち、よりよい社会を創る意欲を高める学校
- ・安全できれいな学校
- ・生徒、家庭、地域から信頼される学校

《めざす生徒像》

知

確かな学力

- ・主体的に学び、考え、行動する生徒
- ・国際社会で生きていく力を身につけられる生徒

徳

豊かな心

- ・偏見や差別をなくし、自然や自他を愛し大切にできる生徒
- ・規範意識のある生徒

体

健やかな体

- ・心身ともに健康でたくましい生徒
- ・体力を育み、体を動かすことをいとわない生徒

学習指導の創意工夫

学力づくり

道徳、特別活動の充実

人権意識の向上

生活指導の徹底

健康・体力づくり

確かな学力を身に付ける教育活動の推進

- ◎基礎学力の定着に向け、学力向上推進プランに基づいた授業改善と個に応じた支援の充実
- ◎教科で学んだ知識を活用して、自ら見つけた課題について「書く」「話す」「発信する」など表現する力の育成。
- ◎日常的な ICT 機器の活用(含む調査、発表)と個別最適化された指導の充実
- ◎家庭学習の定着に向け、保護者への情報発信と連携の定着
- ◎TOKYO GLOBAL GATEWAY 等を活用した英語教育の充実
- ◎キャリア教育(進路指導)の充実
- ◎学校図書館の充実と活用

人権教育、心の教育の推進

- ◎「特別の教科 道徳」の充実
- ◎「命の日」「命の週間」や「いじめ根絶」を通した生命尊重、並びに人権尊重教育の推進
- ◎感動する心を育てる環境づくりと場の設定(行事等)
- ◎行事や生徒会、委員会活動を通したリーダーの育成
- ◎ボランティア活動の推進
- ◎外部人材の活用(ゲストティーチャー等)

安心・安全な学校づくりの推進

- ◎校内委員会を中心とした、特別に支援の必要な生徒の把握と支援のあり方についての共通理解
- ◎SC、関係機関と連携した教育相談活動の充実
- ◎健康的な生活リズムの確立と健康増進に向け、自己管理のできる生徒の育成
- ◎外部講師を招いた「がん教育」「性教育」の実施による理解を深める教育の推進
- ◎家庭、地域の教育力の活用
- ◎食育の充実

<社会の変化に対応した教育>

- ◎地域運営学校の設置、学校と地域の協働による開かれ、信頼される学校づくり。
- ◎教育課題克服のための研究、研修の実践。(特別に支援が必要な生徒への対応、不登校生徒への支援、ICT 機器の活用)
- ◎「個別最適化した学びの充実」のために、日常的な ICT 機器の活用と授業実践につなげるための機器操作力の向上。
- ◎青梅学(地域学習)、人権、生命尊重教育、環境教育、がん教育、性教育、食育、ボランティア教育の充実。
- ◎学力向上推進プランの活用と P D C A サイクルによる授業改善。
- ◎学校評価システムにそった学校評価(自己評価・生徒評価・保護者評価・学校関係者評価)の実施と活用。
- ◎小・中学校一貫教育の推進。(小学校との連携し、指導法や学習進度の理解を深める)
- ◎オリンピック・パラリンピックのレガシーを生かした「知・徳・体」の調和の取れた生徒の育成。
- ◎家庭教育の充実に向けた P T A との連携。

めざす教師像

- ・ 生徒と活動を共にする教師 (師弟同行)
- ・ 生徒と感動を共にする教師 (共感)
- ・ 生徒を深く正しく理解する教師 (信頼関係)